

# 協議会・部会・研修会などの開催内容 ブロック内での連携について

## 中国・四国ブロック

## 広島大学病院



# 広島大学病院

ご来院のみなさまへ

診療科・部門のご案内

施設のご案内

ご相談窓口

Home > 広島大学病院 > 小児がん拠点病院

概要

ご来院のみなさまへ

診療科・部門のご案内

施設のご案内

ご相談窓口

がん治療センター (がん診療連携拠点病院)

小児がん拠点病院

> 小児がん拠点病院とは

> 診療実績

> 小児がん医療相談

> スタッフ紹介

> 中国・四国ネットワーク

> ファミリーハウス

> 小児がんに関する臨床研究

> 中国・四国地域の小児がん患者さんとご家族のためのサポートブック

## 小児がん拠点病院

平成25年2月、広島大学病院は「小児がん拠点病院」に指定されました。 [厚生労働省・報道発表](#)



## 小児がん拠点病院

小児がん拠点病院とは

セカンドオピニオンについて

ファミリーハウス

診療のご案内

スタッフ紹介

小児がんに関する臨床研究

診療実績

中国・四国ネットワーク

サポートブック

小児がん医療相談

新聞報道

外部情報サイト

# 第5回中国四国ブロック連絡協議会（年1回）

（出席者：連携病院医療者，各県のがん対策部署，がんの子どもを守る会支部代表）

2018年1月6日

中四国ブロックの連携体制各施設の現況報告

小児がんの子どものためのサポートブックについて

小児がん患者の在宅移行について

小児血液・がんセミナー in 中四国（会場+ネット配信）

陽子線治療を含めた小児がんの放射線治療

小児血液・免疫疾患（希少疾患の診断と治療）

---

## 出席者数（協議会）

---

医師：39名

看護師：4名

行政：6名

がんの子どもを守る会：3名

その他：5名

合計：57名

---



# 医師間テレビ会議（平成29年度：9回開催）

回数	日時	参加者	内容
第39回	2017/4/26	14病院医師 看護師 広島県・岡山県 職員	ネットワーク会議開催予定および参加者の異動 妊孕性温存について 症例検討：両側腎腫瘍症例
第40回	2017/5/24	14病院医師 看護師 広島県・岡山県 職員	拠点病院連絡協議会開催について 長期フォローアップに関する研修会について 症例検討：加療中にiAMP21が判明し、SRからHRにリスク変更した BCP-ALL症例 Li-Fraumeni 症候群が疑われている女児
第41回	2017/6/28	17病院医師 看護師 広島県・岡山県 職員	拠点病院連絡協議会報告、拠点病院相談支援部会報告 ブロック内相談支援部会報告 中国・四国ブロック小児がん看護研修会について 長期フォローアップに関する研修会について 小児血液がん学会の中四国地区教育セミナーについて
第42回	2017/7/26	14病院医師 看護師 広島県・岡山県 職員	がんの子どもを守る会中国四国支部合同交流会について 小児血液がん学会の中四国地区教育セミナーについて 兵庫県がん・生殖医療ネットワークにおける卵巣凍結保存の取り組み
第43回	2017/9/27	17病院医師 看護師 広島県・岡山県 職員	小児がん診療施設情報公開資料の作成 悪性軟部腫瘍に対する地固め療法としてのWT1ペプチドワクチン （DSP-7888）免疫療法 第Ⅱ相臨床試験について がんの子どもを守る会中国・四国支部合同交流会について 症例検討：初診時に意識障害、呼吸障害、腎障害など多彩な合併症状 を呈したBCP-ALL症例 網膜芽細胞腫症例

# 医師間テレビ会議（平成29年度：9回開催）

回数	日時	参加者	内容
第44回	2017/10/25	16病院医師 看護師 岡山県職員	中国四国の小児がん診療実績 がんの子どもを守る会中国・四国支部合同交流会について 移植時のHLA検査に関する自院の状況について 症例検討：3系統すべての表現型を呈した小児混合形質性 急性白血病例
第45回	2017/11/22	13病院医師 看護師 広島県・岡山県 職員	がんの子どもを守る会中国・四国支部合同交流会報告 小児がん中国・四国ブロック協議会について 各施設の小児がん診療実績（施設別・疾患別の年次推移） 小児血液・がん学会教育セミナーについて 移植時のHLA検査についてのアンケート 症例検討：治療抵抗性悪性骨軟部腫瘍5例に対する Pazopanib の 使用経験
第47回	2018/2/28	15病院医師 看護師 広島県・岡山県 職員	第7回小児がん拠点病院連絡協議会報告 小児がんの子どもへの教育セミナーについて 症例検討：Kasabach-Merritt現象を呈した房上血管腫例
第48回	2018/3/28	14病院医師 看護師 広島県・岡山県 職員	小児がんの子どもへの教育セミナー開催報告 小児がんの子どものためのサポートブックについて 症例検討：治療後早期に再発した多臓器型LCH例



現在の年齢：1歳4か月 女児

周産期歴：  
 早産、低出生体重児（33週5日、2,188g）  
 日齢5から、単球が1,000/ $\mu$ L以上持続していた

家族歴：  
 父、母、兄（3歳）  
 父と兄：神経線維腫症1型（NF1）

既往歴  
 生後3ヶ月 ウイルス性髄膜炎  
 生後9ヶ月 クループ症候群  
 生後1歳2か月 突発性発疹  
 生後1歳2ヶ月 サイトメガロウイルス感染症

参加者	ID	名前	所属
参加者	hos009	岡山康一	岡山大学
参加者	hos006	岡山大学	
参加者	hos002	広島県十一	香川大学
参加者	hos12	三島啓博	高知大学
参加者	hos16	高知大学	
参加者	hos04	山口大学	
参加者	hos33	山口大学	
参加者	hos21	山口大学	
参加者	hos07	山口大学	
参加者	hos08	山口大学	
参加者	hos003	山口大学	
参加者	hos005	山口大学	
参加者	hos15	山口大学	
参加者	hos14	山口大学	
参加者	hos20	山口大学	



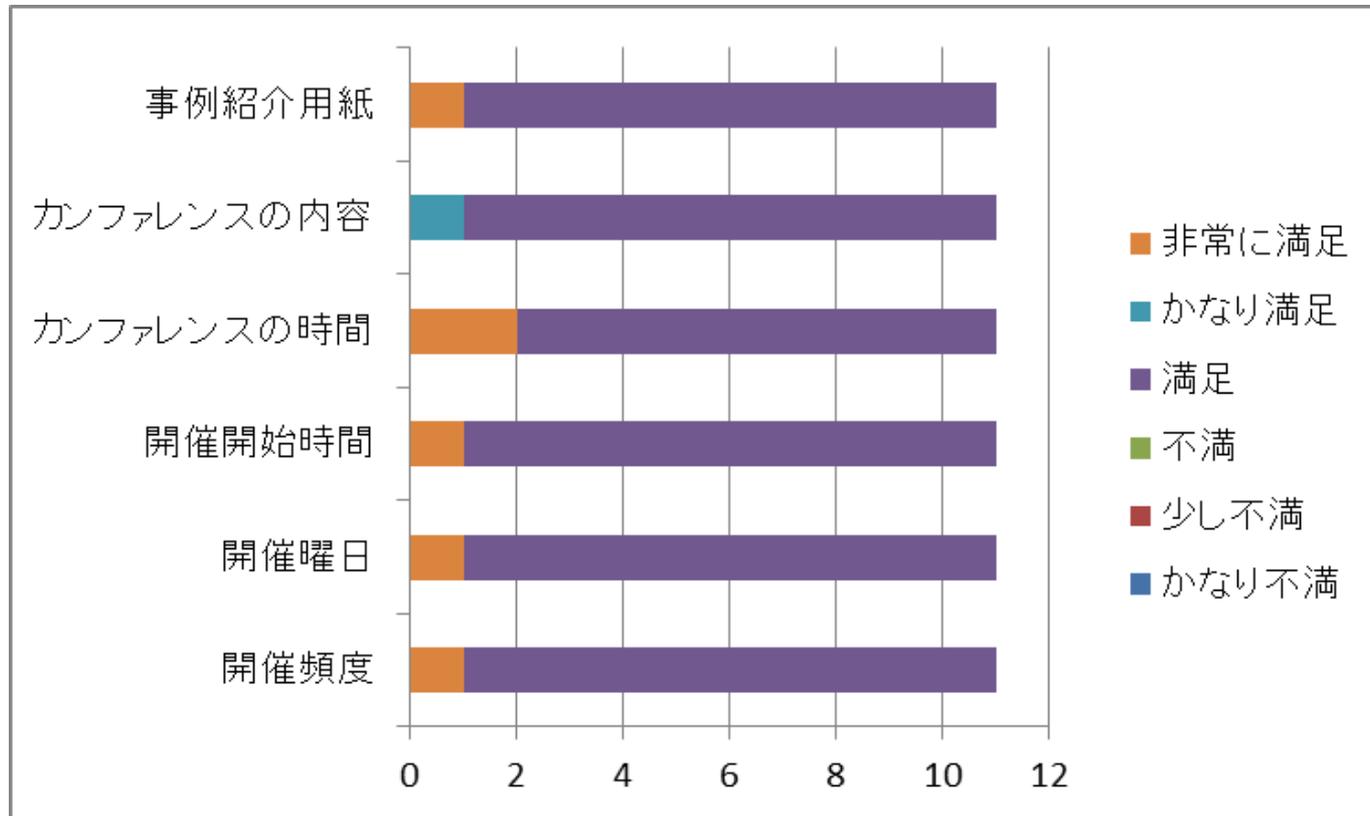
# 看護カンファレンス（平成29年度：9回開催）

回数	日時	参加者	内容
1	2017/4/26	16病院看護師	AYA世代の妊孕性・意思決定について
2	2017/5/24	15病院看護師	病棟保育士の効果的な活動について クライオセラピーについて
3	2017/7/26	16病院看護師	CV固定部位の皮膚トラブルと消毒について
4	2017/8/23	14病院看護師	高校生の教育支援について 大型おもちゃの管理について
5	2017/9/27	15病院看護師	子どもの学習・復学支援について 院内学級の教諭との連携について デスクカンファレンスについて
6	2017/11/22	14病院看護師	低年齢でのクライオセラピー CV留置中の患者の入浴・シャワー浴介助
7	2018/1/24	14病院看護師	小児がん患児や親同士の交流の場について プレイルームの取り決め事項、基準等 治療中の患児の面会の取り決め事項、基準等
8	2018/2/28	15病院看護師	がんリハビリについて
9	2018/3/28	14病院看護師	乳幼児の輸液ルート等の管理 付添者のいない乳幼児の転倒転落防止等の安全対策

※平成27年度～平成29年度 計26回開催



# 看護カンファレンス（アンケート結果）



- 当院で取り組みが不足しているところは、「やらなければ」と刺激になった。
- 医師との交渉時などは他院の状況を踏まえて話しやすくなった（小児がん以外のケースも）。
- 他病院の情報も得られて今後活かす知識を得られた。またそのまま導入できなくでも参考になった。
- 自身の経験した看護を振り返り、共有することで改めて小児看護の難しさや面白さに気付いた。

# 第4回中国・四国ブロック小児がん看護研修会

プログラム 平成29年10月26日（木）-27日（金） 会場：広島大学病院

	内容	講師
1	小児がん医療の概要	広島大学病院 小児科 望月 慎史 先生
2	小児がん救急看護の教育プログラム作成の試み	東京医科歯科大学 前田 留美 先生
3	施設間の情報交換 - 自施設の取り組みについて -	
4	小児がん治療中のリハビリの実際 - 成長発達の側面から -	広島大学病院 リハビリテーション部門 理学療法士 平田 和彦 先生 作業療法士 下西 直美 先生
5	グループワーク① CV管理など支持療法について	
6	グループワーク② 各施設から意見交換したいこと	
7	発表 グループワークでディスカッションした内容を発表	

15施設 33名 参加



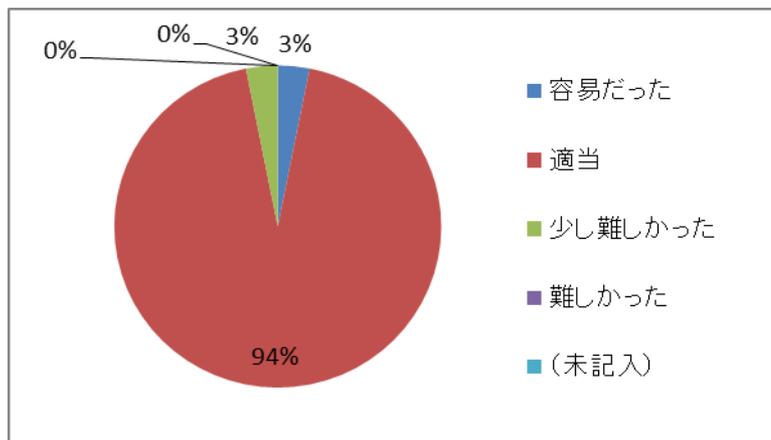
**Aグループ**

施設 島根大	利用部 テカターム + 首がらボット	消毒・ドク (ベンジリニウム) ホモドヨド2本 ハノドク100cc (毎日)	交換頻度 刺が来た時 出血した トラブルな時は 交換しない	70 シワドク ガゼ保護	指導 パンフレット ENT時にて即 でできるもの説明
大森	ホテル エアウォール ボット	ハキザック1本 ハノドク100cc	刺が来た時 (最低1回/w)	シワドク	Drから指示を パンフレットを説明
香川大	モーポア IV3000 (エアウォール ガゼ)	外泊時のみ ハノドク100cc (原則外泊は なし)	1回/w) Dr 刺が来た時 実行 緊急時はN2	RDがガゼ保護 上エアウォール	又イグリス 説明
愛媛大	PICC IVH テカターム IV3000 ガゼ シワドク ボット	ハキザック1本 ハノドク100cc (外泊は2泊3日 おこなった場合は 変更しない)	1回/w 刺が来た時 小生半週は Drと一緒に	点滴しながら ぬらさないよう 保護して	病院持ちだし 外泊中の70ccを 指導 CV挿入などはDr の説明



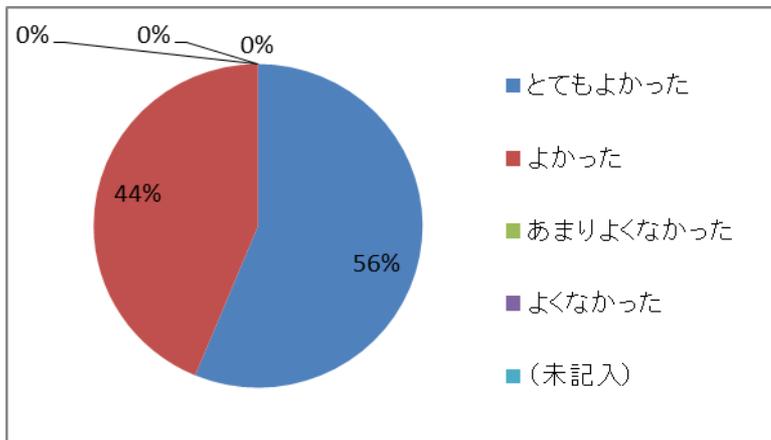
## アンケート結果

今回の研修は現在のあなたにとって適当でしたか



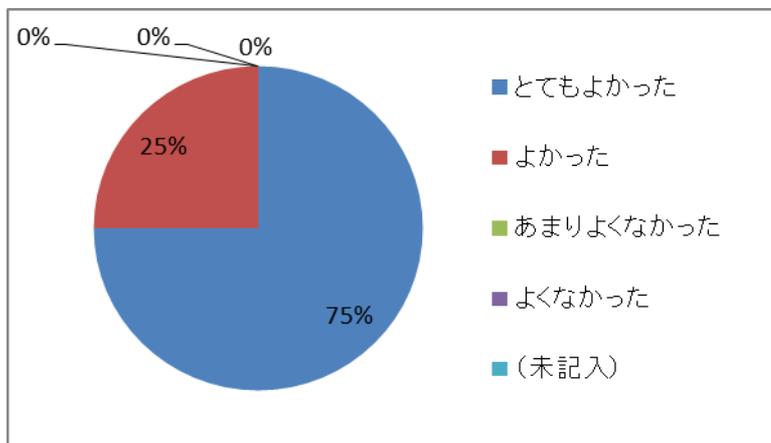
- ・ 知りたい内容が多く、とても有意義な研修となりました。
- ・ 小児がん看護経験が1年目で不安だったが、内容やグループワークも分かりやすく、今後の看護に活かせる内容だった。
- ・ 他施設の取り組みを知れて、良い機会になった。
- ・ 小児がんについて医師、看護師、リハビリからの観点で大事なことを知ることができ、すごく実りのある研修でした。

## 講義内容について



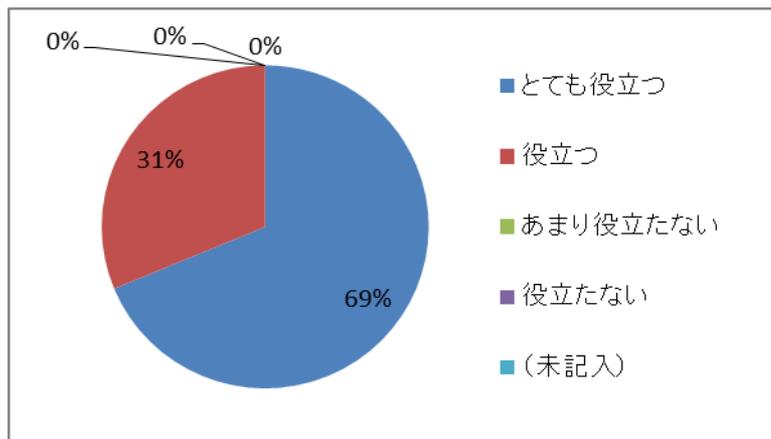
- ・ リハビリについて知識を深めることができたので今後児の家族に対して必要性の説明を行うときに役に立つと思いました。
- ・ 分かりやすく、自施設でも取り組めることが多くありました。
- ・ 小児がん患児を取り巻く多職種の活動や最新の情報が学べて良かったです。
- ・ 病態だけでなく経験したことのない小児がん救急の講義はとても勉強になりました。

## グループワークについて



- 施設ごとで比較や情報交換、共有ができてよかった。
- 困っていることも共通していて、深い話ができたり、新たな知識が得られた。
- 他施設で実施されているケアを共有でき、当院で当たり前に行っているケアの見直しの必要も出てきたので良い機会となった。
- すぐに実践できる内容ばかりだった。

## 看護ケアに役立つと思いますか



- 他施設でのケア方法の共有や講義内容で学んだことを活かしていけるように他のスタッフとも共有していきたいと思った。
- 講義で聞いた内容だったり、グループワークで他施設が取り組まれていること、皆でこうしたら良いのではないかと挙がったことを今後の看護に活かしていきたい。
- とても良い研修会でした。

# 相談支援部会（平成29年度：2回開催）

回数	日時	参加者	内容
1	2017/6/28	14施設相談員	自己紹介 第6回（平成29年度第1回） 小児がん拠点病院連絡協議会 相談支援部会報告 小児がん相談員専門研修の開催について 小児がん医療相談ホットラインについて 今後の相談支援部会の運営について
2	2017/12/20	11施設相談員	第7回（平成29年度第2回） 小児がん拠点病院連絡協議会 相談支援部会報告 小児がん看護研修会の取り組み（CV管理）について 講義：高校生の教育支援について 小児がんの子どものためのサポートブックについて

※平成28年度～平成29年度 計5回開催

中国・四国ブロック相談支援部会の協力を得て  
小児がん患者さんご家族のためのサポートブック発行

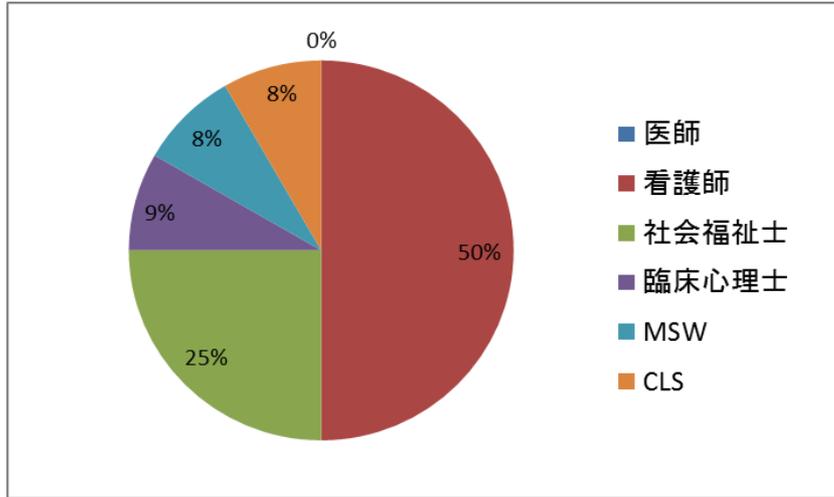
広島大学病院ホームページからもダウンロード可能

<https://www.hiroshima-u.ac.jp/hosp/childhoodcancer/supportbook>

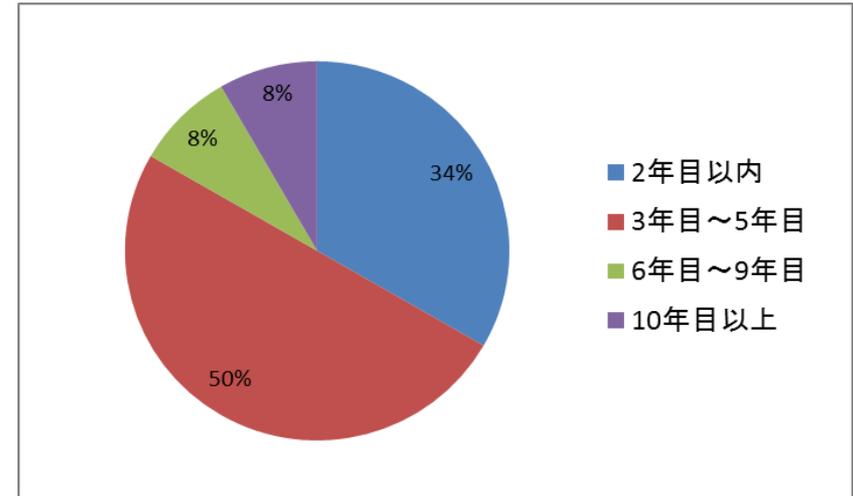


# 相談支援部会（アンケート結果）

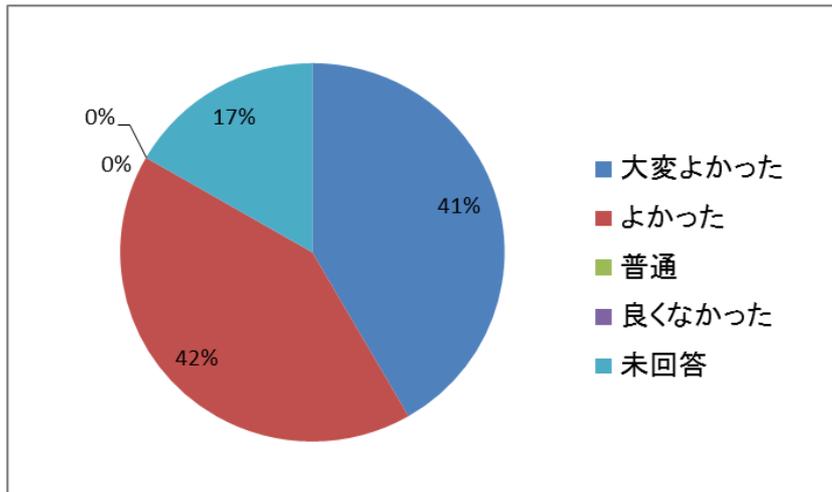
職種について教えてください



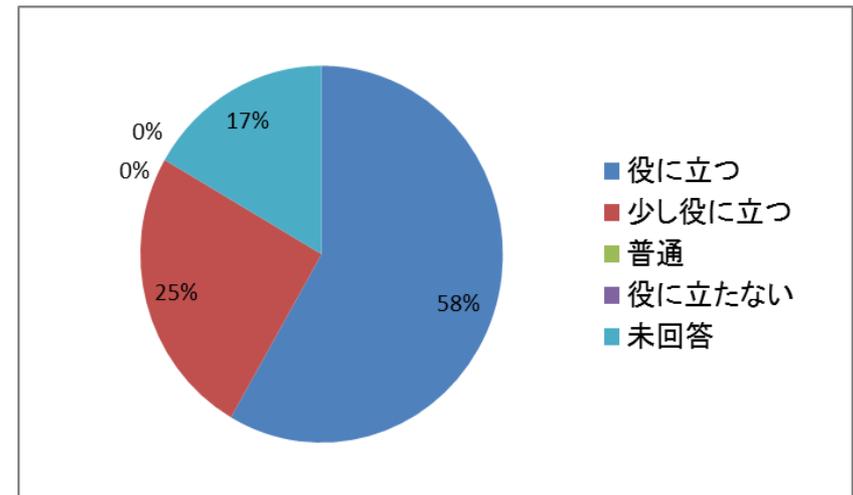
小児がん相談の経験年数を教えてください



今回の研修（講義）「高校生への教育支援について」



今回の研修（講義）は役に立ちますか



# 第5回 がんの子どもを守る会 中四国支部合同交流会

2017年10月28日（土）-29日（日）  
高知医療センター内 くろしおホール

## 出席者数

医療関係：15名  
教育・行政：10名  
がんの子どもを守る会：34名  
学生など：22名  
合計：81名

がんの子どもを守る会  
中四国支部

- ・岡山県
- ・広島県
- ・香川県
- ・愛媛県
- ・高知県

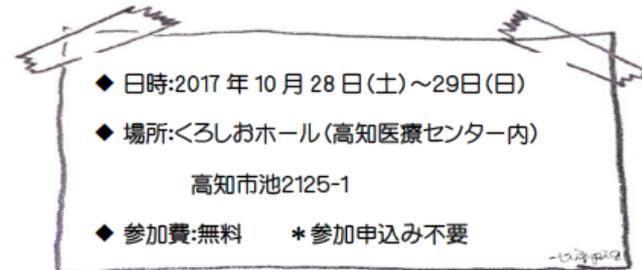


## 公益財団法人 がんの子どもを守る会 第5回 中国・四国支部合同交流会

2017年小児がん中国・四国ネットワークの先生方のご支援を受け、広島での第1回に始まり高知で第5回目の合同交流会を開催いたします。

1日目の講演会、2日目の分科会（小児がん経験者の交流会、小児がんで子どもを亡くした家族交流会 支部活動報告及び意見交換会）を予定しております。

1日目の参加も大歓迎です。是非この機会に多くの方にお集まりいただきたくご案内申し上げます。



### 【プログラム】

10月28日（土）13:30（受付開始） 14:00～17:00

講演「小児がん患者への教育・進学支援」

- \*病児教育制度上の対応 高知市教育委員会 寺尾恵理佳氏
- \*子どもたちの「生きる力」～病院内学級で学ぶことたちから感じること～ 元岡山大学病院院内学級担任 松本圭子先生
- \*県立高知江の口看護学校高知大学医学部附属病院分枝での取り組み 高知大学医学部附属病院分枝 酒井賢世先生
- \*広島大学病院での取り組み 広島大学病院 臨床心理士 井上雅美先生

小児がん患者家族体験発表

10月29日（日）9:30～11:00

- 分科会 I：小児がん経験者交流会 II：小児がんで子どもを亡くした家族交流会  
III：支部活動報告及び意見交換会

\*懇親会を1日目夜高知駅付近にて予定しています。（会費4500円程度）

\*託児（未就学児）をいたします。（10月28日のみ、人数制限あり）

上記ご希望のかたは、10月20日までに高知支部浅岡までメールにてお申込み下さい。

要申込み



# 第3回小児がんの子どもの教育セミナー

2018年3月17日（土） 13：30～16：50

広島大学医学部広仁会館

参加人数：57名

## 参加者内訳

教育関係者：24  
 行政関係者：1  
 医療関係者：18  
 その他：14

### 小児がんの子どもの教育セミナー

平成29年10月に閣議決定された「第3期がん対策推進基本計画」の中で、小児・AYA(思春期・若年成人)世代のがん患者のサポート体制、特に高校教育の段階での取り組みが遅れている現状に触れ、入院中・療養中の患者に対して、教育現場や地域社会での受け入れ体制整備が求められています。

そのための施策として、医療従事者及び教育関係者の連携を強化し、両者一体となって療養中の生徒に対する特別支援教育の充実に取り組む必要があります。

今回、「小児がん患者に対する高校教育」をメイン・テーマとして取り上げ、教育関係者、医療従事者、患者など様々な立場の声を共有することを通して、小児がん患者が治療を受けながら安心して学業を継続できるような教育環境の整備に向けた連携の場とすることを目的としてセミナーを開催します。

開催日時 ▶ 平成30年3月17日(土)13:30～16:50

開催場所 ▶ 広島大学医学部 広仁会館 大会議室  
 〒734-8551 広島市南区霞一丁目2番3号

#### 参加対象者

- ▶ 広島県内の小・中・高等学校および、特別支援学校教員、養護教諭等
- ▶ 教育委員会等の教育行政関係者
- ▶ 小児がん医療に携わる医療従事者（医師、相談員等）



### プログラム

13:30 開会のあいさつ 広島大学病院 小児科 教授 小林 正夫

#### - 第1部 - テーマ:小児がん患者の高校教育

司会 広島大学病院 小児科 教授 小林 正夫

13:40 講演1「広島大学アクセシビリティセンターの関わり」  
 広島市立戸山中学校・戸山小学校 前校長  
 広島市立古市小学校 初任者研修指導 村田 吉弘 先生

14:00 講演2「広島大学病院の現状」  
 広島大学病院 小児科 臨床心理士 井上 雅美 先生

14:20 講演3「小児がん経験者の立場から」

14:40 休憩

14:50 講演4「日本の現状と課題」  
 国立特別支援教育総合研究所 情報・支援部  
 部長 新平 鎮博 先生

15:50 休憩

#### - 第2部 - パネルディスカッション

16:00 「小・中・高校教育のあり方を考える」  
 小児がん患者に対する教育のあり方について、参加者を交えた意見交換を行います

16:40 閉会のあいさつ 広島大学病院 小児科 診療准教授 川口 浩史



参加申込は、WEB (<https://goo.gl/forms/OG17uZ5ut02PnpIS2>) よりお願いします。  
 難しい場合は広島大学病院医療支援グループメールもしくはFAXにてお知らせください。  
 ☎ : byo-renkei @ office.hiroshima-u.ac.jp Fax: 082-257-1720 Tel: 082-257-5279

WEB申込QRコード



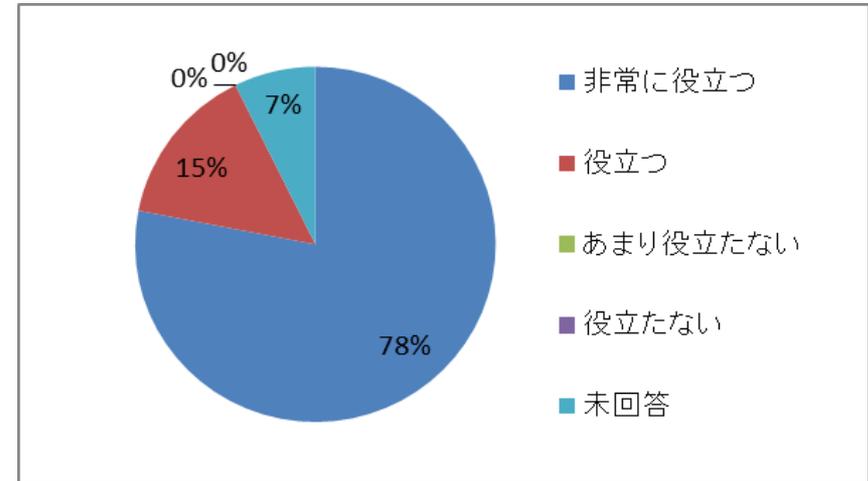
主催 広島大学病院 (小児がん拠点病院)  
 共催・後援 広島県、広島県教育委員会、広島市教育委員会

# 第3回小児がんの子どもへの教育セミナー

アンケート結果（回答41名 回答率72%）

本日のセミナーは、いかがでしたか？

非常に役立つ	32	78%
役立つ	6	15%
あまり役立たない	0	0%
役立たない	0	0%
未回答	3	7%
	41	100%



中学校教員：初めて参加させて頂きましたが、現状と課題が浮き彫りになりました。  
 現在、中学校の院内学級での指導を行っておりますが、高校生への支援拡大について積極的に関わっていきたいと思います。

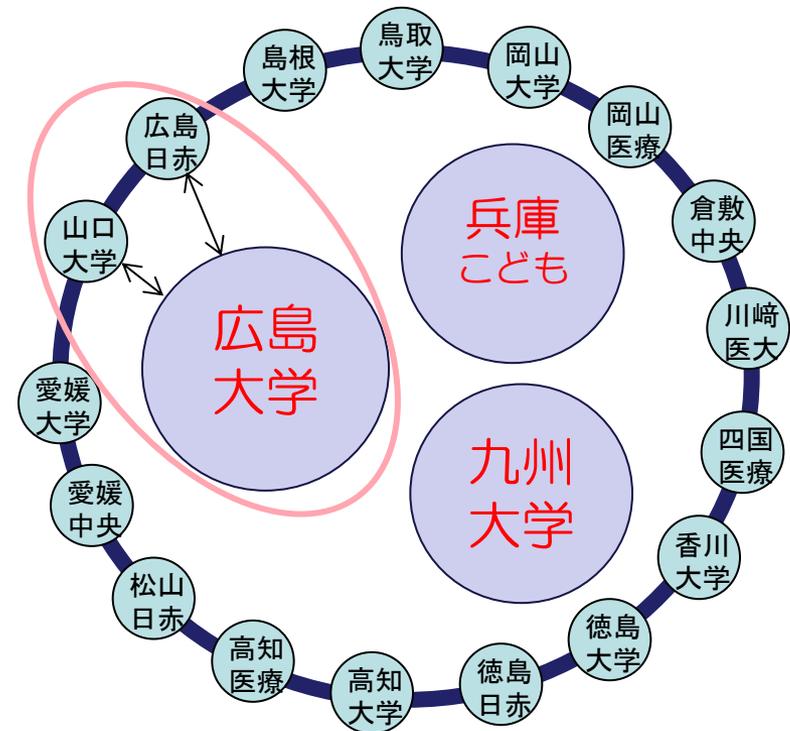
高校教員：はじめて知る内容のことが多かったです。学ぶことに向かって、力を合わせようとするいろんな方の存在（支援体制等）があるということを知るきっかけになりました。

看護師：小児がん看護に関わる看護師として、こういった教育制度があることを知ることは、今後入院してきた患者さんたちに適切な情報提供できると思いました。

# 小児がん診療の連携体制（中国・四国ブロック）

すべての施設がJCCG会員施設：小児血液がん専門医，指導医による診療  
 組織診断（中央診断）  
 化学療法（プロトコール）  
 支持療法  
 放射線治療

概ね問題はない？



## 医療側の問題点

- 症例の経験数が少ない
- 稀少小児固形がんの経験
- 外科系疾患の協力  
 小児外科，脳外科，整形外科，  
 眼科，耳鼻科
- 造血細胞移植の経験が少ない  
 （同種移植認定）